

第51回沖縄地方交通審議会船員部会 議事録

日 時 平成24年12月21日（金）14時00分

場 所 沖縄総合事務局 5F 「海技試験室」

出席者

公益委員	宮里部会長、儀部委員、春田委員
労働者委員	大崎委員、江川委員
使用者委員	伊禮委員、山城委員、大城委員
事務局	前里海事振興調整官、船舶船員課（伊良波、宮良、金城）

議事次第

○開会

○議題

1. 第50回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 船員労働安全衛生月間活動概要報告について
4. 意見交換

○閉会

議事概要

事務局（金城）

それでは、定刻でございますので、会議を始めさせて頂きます。

本日は、公益委員3名、労働者委員2名、使用者委員3名、が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告いたします。

なお、12月1日付けの人事異動に伴い漢那委員にかわりまして全日本海員組合 沖縄支部 大崎支部長が労働者委員として就任されました。大崎委員一言ご挨拶をお願いします。

大崎委員

12月1日付けで沖縄支部の支部長を拝命しました大崎と申します。沖縄は初めてということで勉強しつつ、皆様の御知恵を拝借して、船員労働のほうで一躍を務めていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

事務局（金城）

大崎委員どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局にも交代がありました。宮本海事振興調整官の後任で11月1日付けで前里総務運航課長に海事振興調整官の併任が発令されました。前里課長一言ご挨拶をお願いします。

前里調整官

11月1日から海事振興調整官を併任させていただいています。前里でございます。委員の皆様方には日頃から船員の労働問題や賃金の問題、さらには若年船員雇用の問題等、ご審議をいただいて、誠にありがとうございます。私もこれから事務局の一員としてがんばっていきたいと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひします。

事務局（金城）

前里課長どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、配付資料の確認をさせて頂きます。

（配付資料の確認）

不足・不備などありましたら、申し付け下さい。

よろしいでしょうか。

それでは、宮里部会長、宜しくお願ひいたします。

宮里部会長

それでは、はじめに第50回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。

お手元に配付されております議事録をご確認ください。

第50回船員部会議事録を原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

（異議なし）

宮里部会長

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」について、事務局にご説明をお願いします。

事務局（宮良）

平成24年11月分の管内雇用等状況の概要について報告いたします。1頁の「船員職業紹介実績等一覧表」をご覧下さい。

●求人状況について

新規求人数は2名でした。

前月4名でしたので、2名の減少です。

また、前年同月は3名でしたので、1名の減少です。

月間有効求人数は7名（商船等6名・漁船1名）でした。

前月は6名でしたので、1名の増加です。

また、前年同月は5名でしたので、2名の増加です。

月末未済求人数は6名でした。

●求職状況について

新規求職数は5名（商船等5名・漁船0名）でした。

前月は17名でしたので、12名の減少です。

前年同月は8名でしたので、3名の減少です。

月間有効求職数は25名（商船等23名・漁船2名）でした。

前月は30名でしたので、5名の減少、前年同月は25名でしたので、同数となっています。

月末未済求職数は17名でした。

●成立状況について

11月は、管外への採用が1名決まりました。

成立状況としましては、40代男性が二航士として近海のタンカーに採用されました。

●求人倍率について

11月の月間有効求人倍率は、0.28倍でした。

前月、前年同月ともに0.20倍でしたので、0.08ポイント増加となっています。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

11月の新規求職者5名の内訳につきましてご説明します。

まず、離職者の退職理由としましては、船舶所有者都合が1名、雇用期間満了が1名、自己都合が1名、健康上の都合が1名、その他が1名となっています。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が2名、管外が3名となっています。

●失業等給付支給内訳について

基本手当の初回受給者は1名でした。

受給者実人員は6名、支給延べ件数も6件で、基本手当支給金額は862,600円でし

た。

また、再就職手当が1件、198,754円あり、総支給額は、1,061,354円でした。

以上でございます。

宮里部会長

ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

大崎委員

資料の1ページの新規求職数についてですが、2ページ下段の新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳表とはリンクしているのですか。

江川委員

退職者数と新規求職者数が同数にならないとつじつまがあわないと思うのですが。

事務局（宮良）

新規求職者の中には退職された方以外にも、現在、職に就いていて新たに職を求めている方も含まれており、この場合は、2ページ下段表の求職理由「その他」に該当します。

江川委員

11月の場合だと、退職はしていないけど、求職をしている方が1名いるので退職者数と新規求職者数が同数にならないということですね。

事務局（宮良）

はい。そういうことです。

大崎委員

資料中にあります「管外」というのはどちらのことですか。

事務局（宮良）

沖縄以外ということです。

大崎委員

わかりました。ありがとうございます。

宮里部会長

ほかに質問等ございますか。

質問等がないようですので、続きまして議題3. 船員労働安全衛生月間活動概要報告について事務局からお願ひします。

事務局（宮良）

（船員労働安全衛生月間活動概要報告）

宮里部会長

ありがとうございました。ただ今のご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

大崎委員

報告資料 12 ページの訪船指導状況の表の中にある指摘事項の欄が数字で表記されていましてその数字が指摘事項の内容を表していると思うのですが、その詳細についての資料はありますか。

事務局（宮良）

船員労働安全衛生規則に基づいて作成したチェックリストがありまして、訪船指導の際に各項目のチェックを行いました。指摘事項にある数字は、チェックリストの項目番号になっております。

大崎委員

できれば、指摘事項の内容を入れた表の作成、もしくは資料の追加をしていただくとわかりやすいと思います。また、わかりやすい資料を作成することで、労働安全衛生についての内容がよりいっそう周知できるのではないかと思います。

事務局（宮良）

了解しました。ご指摘ありがとうございます。

宮里部会長

ほかに質問等ございますか。

質問等がないようですので、それでは議題 4. の意見交換に移りますが何かございますでしょうか。

山城委員

今日の地元新聞 2 社ともに、沖縄フロンティア戦略会議が開かれそこで物流特区の活用について今年度内に具体的な方策の提言をまとめるという記事がありました。琉球新報の記事の中には、琉球大学の嘉数名誉教授がカボタージュ規制緩和についても指摘されたという内容もありました。

この会議は沖縄総合事務局の主催になっていまして、この会議はどのような会議なのか、また局長がどういったかたちで提言をされるのか、局長への質問などがあるのかを事務局の方で、もし把握しているのであればお聞かせ願いたい。

また、カボタージュの規制緩和については、反対の意見がありまして、反論の機会なく、そのまま提言が活用された場合のことを危惧しています。また、反論する機会などがあるのかも、お話できるのであればお聞かせ願いたい。

前里調整官

本会議を傍聴しましたが、概要としては那覇空港の国際空港物流を活かした交易・交流拠点の形成、持続可能な沖縄型ビジネスの創出の推進や、那覇港、中城湾港の国際海上物流機能を活用した持続可能な沖縄型ビジネスの創出の推進等について、国際物流特区制度の更なる地活

用や産業イノベーション地域制度の利用拡大を視野に、沖縄の地理的優位性を活かした新たな成長戦略策定や方策の提言をまとめるための会議と認識しました。

委員からは「カボタージュ規制緩和」が必要との意見もありましたが、各員がそれぞれの立場で意見を述べている印象がありました。

今後の本会議の概要等について情報展開可能なものについては情報を展開させて頂きたいと思っております。

山城委員

現在、沖縄全体の産業や行政の中では、那覇空港がハブ事業を取り入れているので、海運についてもハブ事業を取り入れるべきだという流れになっていると思います。そういう状況でこういった会議をすることはとても良いことだと思います。ただ、カボタージュについては沖縄の船員不足にも繋がる問題であることが、一言も議論されずに話しが進んでしまうと困ると思いましたので、どのような会議なのかを質問させていただきました。引き続き情報等ありましたらお聞かせ下さい。

宮里部会長

こういった意見をされた委員の方は、沖縄の船員の雇用状況を知っていておっしゃっているのでしょうか。ハブ事業を取り入れるべきだという雰囲気的などころも感じられます。

山城委員

そうなんです。雰囲気的なものや流れ的な感じもあると思います。外国船が沖縄の沖を通って本土へ行くのなら、ちょっと沖縄の港に寄れば無料でいけるような感覚で話をされると困るんですね、沖縄の既存の海運業界、延いては雇用されている船員へ大きな影響を及ぼします。また、沖縄でカボタージュ規制緩和をしてしまった場合、本土にも影響が及ぶ可能性もあり、日本全国の大きな問題になりかねません。船員の雇用問題等についても議論をして理解をしていただきたいです。

大崎委員

海員組合としても船員の雇用問題の関係がありますのでカボタージュ規制緩和は反対です。実情を知らない方が先進的な考え方で「沖縄から発進する」というようななかたちで発言することで、話が進んでしまうことも考えられます。

船員の重要性があるなか物流の事だけを議論してしまいますと、今後、危機管理の面で外国の船舶に頼っていいのかという話も出てくると思います。10年、20年後には大規模な船員不足になると言われていて、安易に外国船に頼ればいいというのは違うと思います。我が国の内航物流は我が国で行うというのが基本であると思います。

会議をされている委員の方々が実情を十分に把握して議論をされているのであればいいんですが、雰囲気的なものに流されてこういった議論をするのではなく、主催者は双方の意見も聞きいれていただきたい。マスコミも実情を知らないと思いますので、委員の方々の意見が正しいと思ってしまうことも考えられます。カボタージュ規制緩和をすることでデメリットがあることを説明できる方が必要だと思います。そうでないと沖縄の船員雇用問題は深刻化する一方です。カボタージュ規制緩和が沖縄でなされた場合、必ず本土の事業者から「沖縄ができるのであれば本土でも取り入れるべきだ」という声が出ます。そうなると本土まで船員の雇用問題が波及してしまいます。ですので、日本全国の問題として公平な意見を取り入れるようよろし

くお願いします。

宮里部会長

そのほかに何かございますでしょうか。なければ事務局から連絡がありますのでお願いします。

伊良波課長

連絡事項の前に、前回の部会で船員法改正の関係で質問を受けていましたが、今回、回答するということになっていましたが、回答について国土交通省の方に確認をとっているのですが、未だ返答をいただいているので、次回の部会で回答したいと思います。

事務局（金城）

次回の船員部会は1月25日（金） 場所が変わりまして 1F共用会議室で行います。

また、次回は新年会を予定しておりますので、16:30より部会を開催いたします。

部会の開催と新年会の詳細につきましては、後日通知いたします。

宮里部会長

それでは本日の部会はこれで終了します。

(配付資料)

1. 第50回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成24年11月分）
3. 船員労働安全衛生月間活動概要報告書
4. 沖縄地方交通審議会船員部会 委員名簿